

# にじの 大合唱

表紙の写真は、セミナー2013の最後のプログラム「MM合唱隊によるにじの歌の合唱」の様子です。合唱隊のメンバーは、講師の先生方、製薬企業の方々、患者の会の役員。日々の診療や研究で多忙を極めておられる先生方に無理をお願いして、一緒に歌っていただいたには理由がありました。



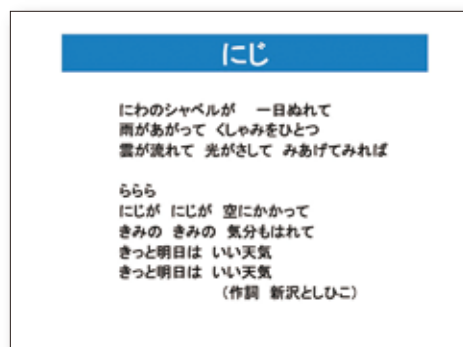
原崎先生にインタビュー

「にじ」の歌との出会いは、昨年の秋、仙台で開催した宮城ブロック会のときに講師を務めてくださった宮城県立がんセンターの原崎頼子先生が講演の最後のスライドに「にじ」の歌詞を映されたときです。

MM合唱隊によるにじの合唱が始まる前、そのときのことを原崎先生に尋ねてみました。

**にじの歌詞を紹介してくださったのはなぜですか？**

「骨髄腫の患者さんとはときどきすごく治療に難渋する方がいらっしゃいます。そういう患者さんがいらしたあるとき、どうしたらいいかなあ困った、困ったと思っていた時に偶然、この歌を聴きました。いい歌だなあと思いました。



原崎先生が準備してくださったスライド

骨髄腫には最近新しいお薬が使われるようになって、病気をコントロールすることができるようになりました。でも、患者さんにはお薬の副作用のことだったり、お体の調子だったり、困ったことがいっぱいあるんですよね。ですから、私たちも悩みながら、患者さんと相談しながら治療をしていくわけですが、私たちと一緒に希望をもっていただけるといいなあということを入れて、仙台であった講演会の時にじの歌詞を紹介しました。そうしたら、歌ってください、と言われてえーっと思いつながら歌いました。そして今日はこんな大舞台で、こんなに大勢の先生方と

「一緒に歌うことになって、ドキドキしています。」

原崎先生のおつしやるとおり、新しい薬が誕生して嬉しい一方、患者さんたちは副作用で苦勞されたり、治療選択に悩まれたりしています。患者さんからの相談を受けるにつけ、「今日はおひとつでも、明日はきつといい日になると信じてがんばって」と伝えたいのですが、うまい言葉が見つかりません。そんなときに、にじの歌を知り、ぜひこの歌をひとりでも多くの骨髄腫の患者さんにお聞かせしたいと思いました。

病氣と共に暮らすためには、自分の心と折り合いをつけなければいけないことが少なくありません。なんでこんな病氣になったのだろうと思いい悩むこともあります。体はしんどいし、治療はつらいです。病氣になる前にできたことができなくなったり、家族の手を煩わせているのではないかと落ち込んだり、治療費のことが頭をよぎったり。でも、病氣は体の外に出て行つてはくれません。だから、なんとかして自分の心をなだめないとなりません。

そんなときに、にじの歌を思い出して欲しいと思いました。骨髄腫を治すために一生懸命働くひとがいることを知って欲しいと思いました。だから、医師、薬剤師、製薬会社の方、そして私たち患者の会のメンバーがにじの歌を合唱しました。

私たちのこの思いを理解し、無理を聞き届け合唱をしてくださったみなさまに心から感謝しています。ありがとうございました。



MM合唱隊のみなさま

### エピソード

にじの歌の合唱は、ぶつつけ本番ではありませんでした。MM合唱隊の方々に、セミナー2013実行委員長は自ら歌い録音したCDを送りつけ(！)、自主練習をお願いしました。大胆なことをしたものです。

そして本番当日、会場で講演がなされている中、地下にあるリハーサル室でひそかに合同練習をしていたのです。きつと会場の誰も知らない、でも一生懸命な裏話です。



リハーサル風景

表紙写真 MM合唱隊

指揮者 木崎昌弘先生(埼玉医科大学総合医療センター)

合唱隊後列左から 殿塚早百合先生(日本医科大学付属病院)、佐々木純先生(順天堂医院)、内田ゆみ子先生(虎の門病院)、塚田恵美子先生(千葉大学医学部附属病院)、石黒卓朗先生(新潟県立がんセンター新潟病院)、飯田真介先生(名古屋市立大学病院)、中雄大輔(患者の会理事)、竹直直樹先生(災害医療センター)、渡部玲子先生(埼玉医科大学総合医療センター)、西山和男さん(メーカーボランティア)、中村仁さん(メーカーボランティア)、永井重和さん(メーカーボランティア)

合唱隊前列左から 上甲恭子(患者の会副代表)、田村秀人先生(日本医科大学付属病院)、米野琢哉先生(水戸医療センター)、伊藤薫樹先生(岩手医科大学付属病院)、伊豆津宏二先生(虎の門病院)、上田真寿先生(自治医科大学付属病院)、原崎頼子先生(宮城県立がんセンター)、多林孝之先生(埼玉医科大学総合医療センター)、藤野智史先生(埼玉医科大学総合医療センター)、小西美穂子(患者の会理事)、堀之内みどり(患者の会代表)、為崎隆(患者の会理事)、ピアノ林琢也さん



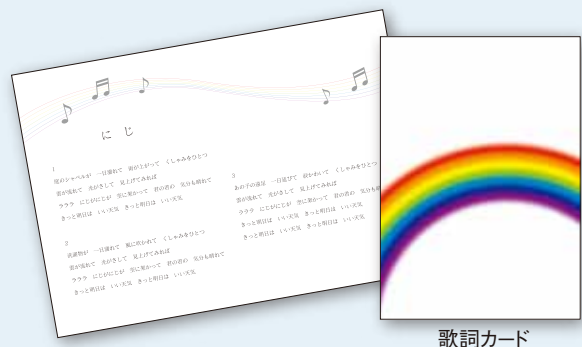
## に じ

1  
庭のシャベルが 一日濡れて 雨が上がって くしゃみをひとつ  
雲が流れて 光がさして 見上げてみれば  
ラララ にじがにじが 空に架かって 君の君の 気分も晴れて 3  
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気

2  
洗濯物が 一日濡れて 風に吹かれて くしゃみをひとつ  
雲が流れて 光がさして 見上げてみれば  
ラララ にじがにじが 空に架かって 君の君の 気分も晴れて  
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気

あの子の遠足 一日延びて 涙かわいて くしゃみをひとつ  
雲が流れて 光がさして 見上げてみれば  
ラララ にじがにじが 空に架かって 君の君の 気分も晴れて  
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気  
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気

さてここで、にじの歌詞を  
MM合唱隊が手にした  
歌詞カードの内面で、  
ご紹介します。  
シンプルなデザインの  
この歌詞カードは  
本誌のデザイナー君の作品です。  
表紙の虹のバランスといい、  
内面の文字のバランスといい、  
一発OKでデザインが決まりました。  
MM合唱隊が歌う時、  
客席から美しい虹が見えるようにと  
考えて作られた歌詞カード、  
心をこめて作りました。  
お手元にある方は、  
どうか大切にしてください。



歌詞カード